

1. 調査報告概要表

作成日 平成 21 年 2 月 12 日

【評価実施概要】

事業所番号	3470204037
法人名	有限会社 悠
事業所名	グループホーム悠
所在地	広島市佐伯区美鈴が丘東3丁目6番10号
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4丁目46-9
訪問調査日	平成21年2月10日

【情報提供票より】21年1月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 1 日
ユニット数	1 ユニット
職員数	10 人
利用定員数計	9 人
常勤	8 人
非常勤	2 人
常勤換算	6.3

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 ~ 70,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	200,000円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	400 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	200 円
	または1日当たり		1500 円	

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	8 名	男性	2 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 82.3 歳	最低	73 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山下内科医院 池田歯科医院 中島クリニック 総合病院福島生協病院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム悠は誰もが願う「普通の家庭の中で人として尊重され一人ひとりに寄り添って」を理念に認知症高齢者の介護の経験を重ねた代表者、管理者の熱意で設立されたホームです。静かな住宅地の一民家を改造され、穏やかな家庭生活者の集団を目指して5年を経ており、ホーム全員の弛まぬ努力をされ近隣よりの理解も深まり地域に根ざした施設になっています。利用者の看とりについても、柔軟な対応がされ過去には家族より謝意が届けられています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価も良好な評価がされていますが、管理者は設立当初の緊張が取れ、職員との信頼関係も深められて、全員一体となってホームの運営改善に取り組まれている
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員全員でミーティングで評価項目についても検討し、日常業務の見直しの機会として捉えている
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4)
	運営推進会議の参加者は回を重ねてきて協力的であり、今後は近隣との関わりのある避難訓練や災害対策等の運営に対してより建設的な意見交換の機会となる事が期待される
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月の「ゆうしんぶん」を充実継続されることで家族との信頼関係が深まり、家族よりの意見の汲み取りが一層進展されることが期待されます
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣との日常の声かけや自治会に入会され、代表者は自治会の役員を引き受ける等、地域との連携を深められている。地域の運動会や餅つき大会にも利用者職員共々に参加し交流が続けられている

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム設立の理念である「お一人お一人を大切に、、、」を代表者、管理者は確守され職員全員で理解された上で利用者に寄り添う支援に努めている		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングの検討課題は「家庭での普通の暮らし」を念頭にして話し合いを持ち、お一人お一人に寄り添った解決方法をみつけ、理念の実践としている		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入会し、代表者は自治会の役員を引き受けて活動をされ、町内会の行事、地域のサロンにも利用者と共に参加し交流を続けている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の評価を代表者、管理者、職員は日常業務の見直しをする機会ととらえ、ミーティングで検討がされ、評価の結果も今後の課題として受け止めるとの意向であった		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議への報告書をまとめることを日常業務の見直しと捉えられている 運営推進会議は参加者が回を重ね毎に和やかな雰囲気をつくられて進行されている		今後の課題としてホームに対する建設的な意見を今一步汲み取れる様に進行してゆきたいと管理者は望まれ、期待したい

グループホーム悠

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	佐伯区高齢者医療、福祉部会やケア会議のメンバーとして認知症の啓蒙活動に参加され、広報誌に「成年後見制度」の特集を組み、地域の方の相談に応じている		
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の「ゆうしんぶん」に利用者の個人コーナーが設けられ其の家族のみに宛てて近況が送付され喜ばれている		個人情報の守秘を確実にされながら家族への信頼感が深められていることを特記したい
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	頻繁に来訪される家族との意見交換は気軽にされ日常生活に反映されることはあるが、遠方の家族とのコミュニケーションは取りにくい		近隣、遠方にかかわらず通信書類に合わせて、時々意見が汲み取れる内容が含められたアンケート等、一案として検討されたい
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	最近の2年余は産休以外は職員の異動はなく、利用者と職員の間関係は良好に保たれている産休の職員が小児連れで来訪し利用者の喜びとなっている		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は積極的に職員の外部研修を推進する方針で、研修での報告内容を全員で共有し運営の改善にも役立っている 職員より研修への参加の意義の喜びが寄せられた		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所有志で構成されている「ぼちぼちこうネット」に所属され勉強会や研修等の交流を行っている 代表者のみでなく職員間での交流にもなっている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の意向を十分にとらえながら家族の来訪を要請したり、職員と共に利用者宅に向いて家族の協力を得ながらサポートしている		
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と職員は擬似家族の雰囲気を作って共に過ごし、利用者の生活経験からも学び得る事が度々である		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者、職員は入所前の生活歴を十分に共有し一人ひとりに寄り添う介護の中で利用者の意向を汲み取る努力がされている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の記録やミーティングをもとに、家族の意見を取り入れて介護計画書は作成されているが、遠方の家族からの意見は少なく、ホームで作成された介護計画書に認印を頂くのみの現状がある。今後は担当職員がこれまで以上に介護計画の立案に関わる様式を取り入れ、きめ細かい介護計画を作成したい意向である		遠方の家族は「預かっただいていれば只有難い」との感謝を含む意見のみが窺え、本音を述べてこられないとの説明があった。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3か月毎にホーム独自の様式で克明に作成されている		

グループホーム悠

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	住宅地の一軒家に居住する一家族としての認識が近隣にも次第と理解され、受け止められる事で、利用者(後ろからの見守りをしつつ)だけでの買い物や散歩を容易に支援できるようになった		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のほぼ全員が近隣にあるホームのかかりつけ医を希望され、隔週で往診を受けている他科眼科等は職員が通院介助を行っている、歯科のかかりつけ医も希望日に往診治療に来られている		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時にターミナルについて「お世話は可能」の旨ホームの意向を伝え、掛かりつけ医を交え、家族ともその都度話し合っ方針を確認し、ホーム全員で共有している		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ミーティングや日常の会話の中に声に出して個人名を取り上げない、ネームの工夫を共有し迅速な対応ができるようにしている		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	担当者を主としながら寄り添う対応がされ、お一人おひとりの体調や感情の波を把握して、洗濯物干し、布団干し、買い物等その方に合った役割の支援を行っている		

グループホーム悠

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	訪問当日も利用者が職員と共に笑顔で配膳をされている光景が見受けられ、和やかな雰囲気があった		食事はその日の材料について利用者と共に調理方法など話し合い、食事への期待感を持ってもらいながら、主には職員が調理を行っている
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は隔日とされているが希望や必要に応じて柔軟な対応がされている 入浴を嫌がる方へのタイミングの工夫も考えられている 家庭用の浴室や脱衣所は機能的な工夫がされ介護度の高い方への介助浴に配慮されている		入浴を精神的な安らぎの場と捉えるためには、雰囲気作りに今一步工夫が期待される
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	年間に数回の遠出の実行の記録写真より利用者が生き生きとされている様子が窺える 又利用者とその家族を交えた旅行は家族同士の親交の機会になり大変有意義であったと報告された		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天気や体調を考慮しつつ、少人数に一人の職員の同行で散歩や買い物の支援がされている		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は居室も玄関も施錠はせず、解放的な方針である 見守りには十分配慮しているが、時々徘徊される利用者はあるが、近隣の方とも顔見知りになっていて、知らせを受けることもある 交番にも全員の様子を届けている		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は実施され、運営推進会議にも報告されている 今後とも地域よりの協力を依頼した		

グループホーム悠

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人ファイルに時刻を追って記録され、一人ひとりの状況経過は共有されて、支援されている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は家庭的な手作りの装飾がされ、壁面は廃物を利用した写真の展示板が配置され、ホームの雰囲気づくりを華やかにしている リビングでの居心地は良好な様子で、昼間は殆どの利用者は日当たりの良いリビングや食堂で職員と談笑して過ごされている		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清掃の行き届いた殆どの居室は和風で、障子や襖に囲まれて高齢者には落つける部屋に見受けられる 日常に使用されたタンスや鏡台等が配置されそれぞれの部屋の模様が作られている 仏壇を持ち込まれている利用者には職員が介助して線香も灯されていると説明された		